

Windows10 の標準機能を使用した CD-R への書き込み方法

①CD ドライブへ未使用の CD-R を挿入する。

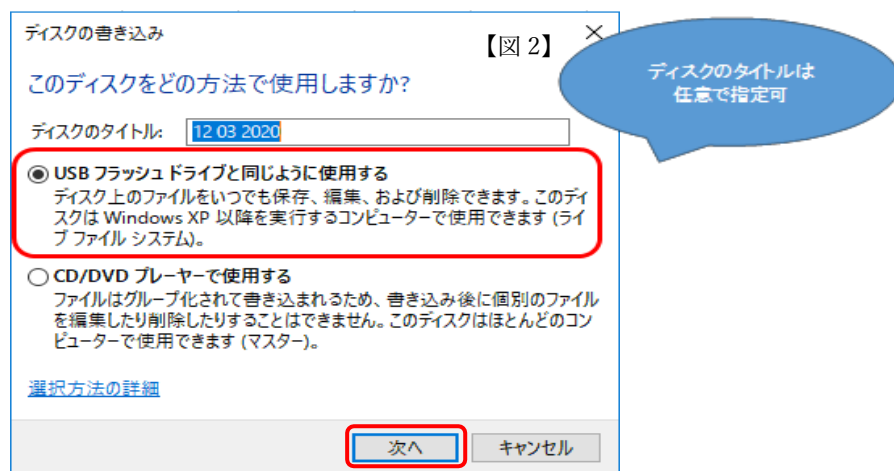
②エクスプローラーより、DVD RW ドライブ(E:)を開く。【図 1】

※ドライブ名はご使用の環境により異なります。

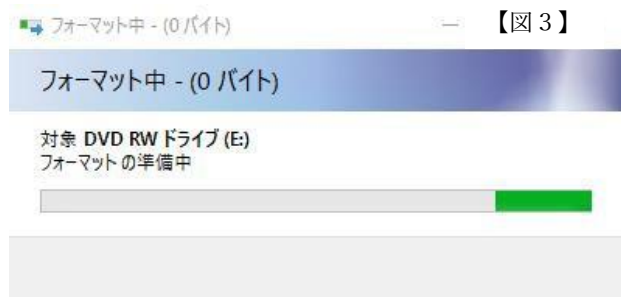


③「ディスクの書き込み」画面で「USB フラッシュドライブと同じように使用する」を選択し、「次へ」を押下する。【図 2】

(※「CD/DVD プレーヤーで使用する」を選択した場合は、別記 (3 ページ)をご参照ください。)



④「フォーマット中」画面の正常完了を確認する(完了後、自動でウィンドウが閉じます)。【図 3】



- ⑤エクスプローラーより、DVD RW ドライブ(E:)を開き、請求データ(.csv ファイル)をドラッグ&ドロップで追加する。【図4】

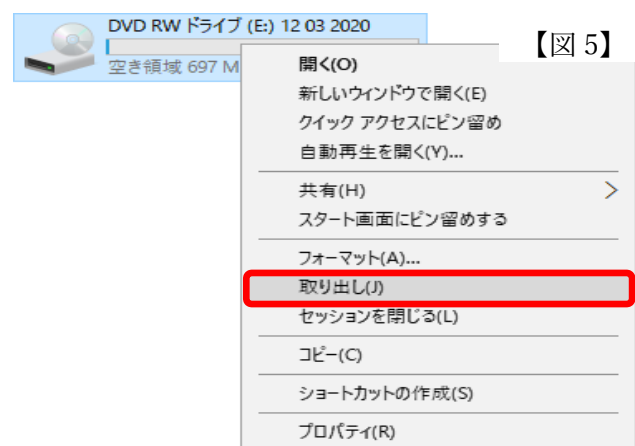


【図4】

【注意】

請求データを開く際は、絶対に「Excel」を使用しないでください。
(ダブルクリックの禁止)
確認方法 ⇒ 別添 請求データの確認方法.pdf をご参照ください。

- ⑥書き込みが完了したら、エクスプローラーより、DVD RW ドライブ(E:)を選択し、右クリック→ウインドウ内「取り出し(J)」をクリックし、CD-Rを取り出す。【図5】



【図5】

- ⑦⑥で取り出したCD-Rを再度CDドライブへ挿入し、請求データ(.csv ファイル)が確実に書き込まれていることを確認し、完了する。【図6】



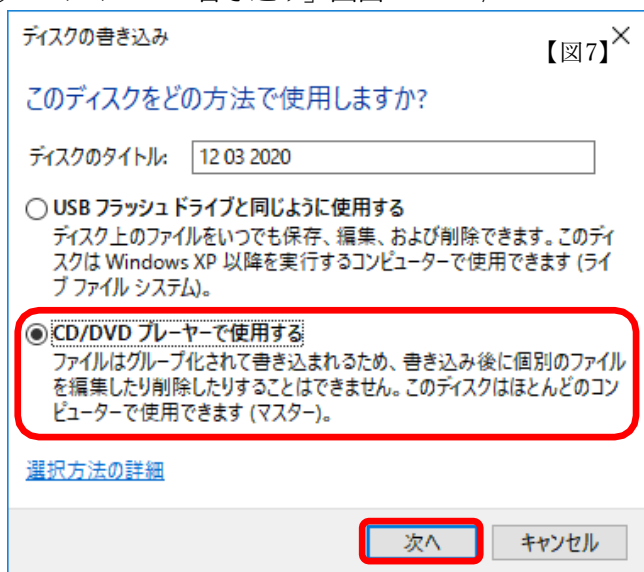
【図6】

【重要】

CD-R に請求データが書き込みされていない状態で請求した場合、本会にて読み取りが出来ないため、次月以降に再請求をお願いします。

★別記★③「ディスクの書き込み」画面で「CD/DVD プレーヤーで使用する」を選択した場合

- ③ ´ 「ディスクの書き込み」画面で「CD/DVD プレーヤーで使用する」を選択し、「次へ」を押下する。【図7】



- ④ ´ エクスプローラーから DVD RW ドライブ(E:) を開き、請求データ(.csv ファイル)をドラッグ&ドロップで追加する。

書き込み準備ができたファイル」に請求データ(.csv ファイル)が表示されたことを確認する。【図8】

【注意!!】この時点では CD-R への書き込みは完了していません!! 必ず⑤ ´ 以降の操作を行ってください。



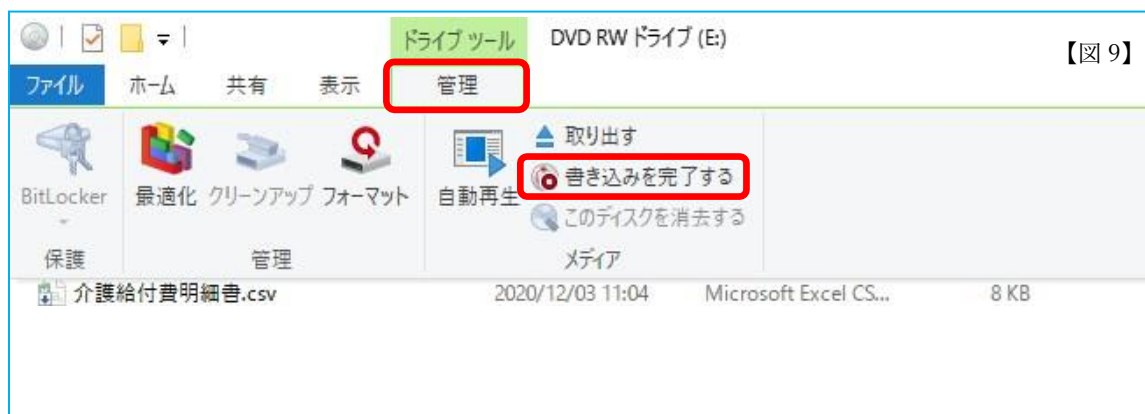
【注意】

請求データを開く際は、絶対に「Excel」を使用しないでください。

(ダブルクリックの禁止)

確認方法 ⇒ 別添 請求データの確認方法.pdf をご参照ください。

⑤ ' ウィンドウ上部の「管理」タブより、「書き込みを完了する」をクリックする。【図 9】



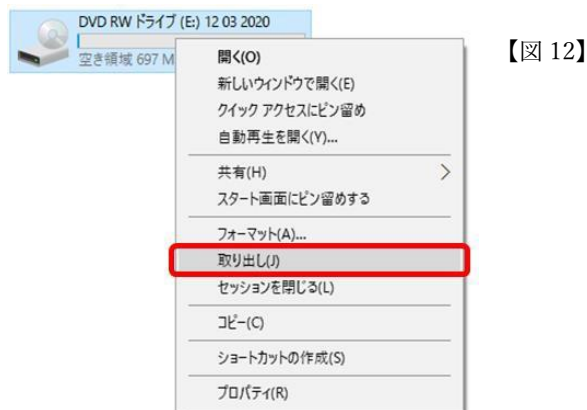
⑥ ' 「次へ」をクリックする。【図 10】



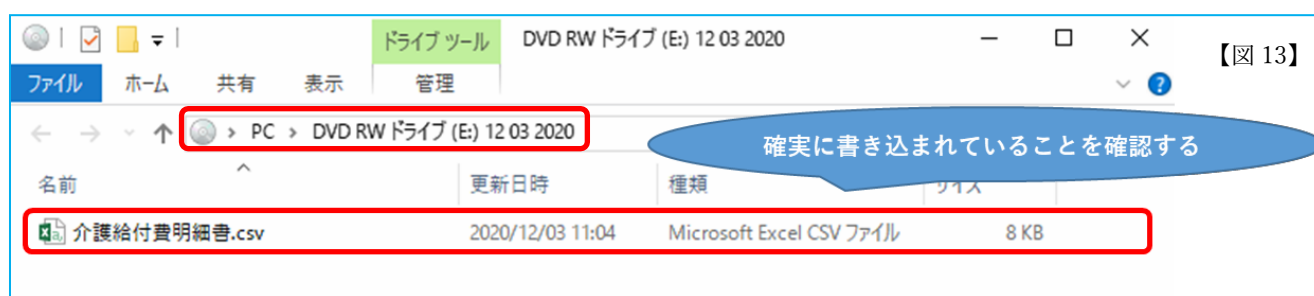
⑦ ' 「ファイルはディスクに正しく書き込まれました」メッセージを確認し、「完了」をクリックする。【図 11】



- ⑧ 書き込みが完了したら、エクスプローラーにて DVD RW ドライブ(E:)を選択し、
右クリック→ウインドウ内「取り出し(J)」をクリックし、CD-Rを取り出す。【図 12】



- ⑨ ⑧で取り出したCD-Rを再度CDドライブへ挿入し、請求データ(.csv ファイル)が確実に書き込まれていることを確認し、完了する。【図 13】



【重要】

CD-R に請求データが書き込みされていない状態で請求した場合、本会にて読み取りが出来ないため、次月以降に再請求をお願いします。

最後にご確認ください。

【重要】請求データ(.csv)ファイルは必ず CD-R の直下書き込みをしてください（複数ファイル保存可）。
請求データがフォルダ内に格納(圧縮を含む)されていると、本会でデータ取込ができません。

【正しい状態】CD-R の直下に請求データ(.csv)ファイルが保存されている。
(※CD-R を開いた最初の画面に請求データが直接保存されている状態が正当です。)



【読込不可】CD-R 内に「フォルダ」が作成されている。
フォルダ内に請求データ(.csv)ファイルが保存されている。
(※例では「介護請求」という名称のフォルダが作成されています。)



【読込不可】請求データ(.csv)ファイルが圧縮ファイルとして保存されている。
(※例では.zip ファイルに圧縮されています。)



【読込不可】請求データファイル「.csv」ファイルではないものが含まれている。
(※例では「.xlsx」のエクセルブック形式のデータが保存されています。)

